

令和3年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

## 令和3年度 公益財団法人 目黒区芸術文化振興財団 事業計画

### 取組方針

令和3年度（2021年度）は、当財団が、平成23年度に公益財団法人へ移行して以来、11年目を迎えます。令和2年初頭から始まった、新型コロナウイルスに起因する世界的大流行（パンデミック）は、財団運営に極めて大きな影響を及ぼしました。当財団は、区民の方々に良質な芸術・文化に触れる機会をお届けし、或いは活動の場を提供するという役割が課せられておりますが、これを十分に果たすことが困難な状況がいまだに続いております。ウィズ コロナとも言われる今日を直視しながら、課せられた責務を果たさなければなりません。感染力が強く、未だ効果的な治療法が確立されていない中、いかに多人数の接触を抑制しながら活動の充実を図るかが喫緊の課題であり、新たな手法も試みながら活動の深化が求められております。同時に、実演芸術の奥深い体験や、実物を鑑賞することの大切さも実現されなければなりません。

映画監督の山田洋次氏が「疲れ果てた観客に笑いを」と語るように、感染拡大の収束が未だ見通せない中ではありますが、多くの方々に文化ホールと美術館を利用していただき、優れた実演芸術や展示を通じて、喜びや感動が利用者そして来館者に届くことを切に願うところです。そこで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が令和3年夏の開催となったことから、前年度中に計画していた様々な事業を先送りし、改めて、令和3年度事業として実施することといたしました。併せて、両施設の事業の中で動画の作成も拡充し、インターネットを活用して積極的に配信するとともに、ホールと美術館との連携も含め、ワークショップの開催にも積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

一方、令和2年度は施設の休館などにより、利用料金収入の大幅な減少が避けられない中であって、「アーティストは今、生命維持に必要不可欠な存在」（ドイツ文化相）であるとの認識のもと、目黒区の財政支援を得つつ、芸術・文化の担い手の育成や団体等への支援を継続してまいります。実施に際しましては、財団自ら優れた人材の確保・育成に努め、費用の抑制にも留意し、指定管理者として事業の企画立案と施設の運営・管理に適切に対応してまいります。

「新しい生活様式」への息の長い取り組みが必要とされておりますが、財団職員一丸となって、公益法人としての責務を自覚し、区民の皆様のご期待に応えていく覚悟です。

## 目黒区文化ホール

### 1 事業方針

#### (1) 鑑賞事業

##### ○ 主催事業（5事業）

様々な分野の優れた公演を通じて芸術文化に接する機会を区民に提供するために、<sup>1</sup>財団の自主財源を活用した事業

##### ○ 共催事業（10事業）

多彩な活動を行っている主催者との連携事業

主催・共催事業とも、各年代層の要望に沿っていることや、公演のジャンルが偏らないことなどに留意するほか、美術館と連携して展覧会に合わせたコンサートを実施します。

#### (2) 地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力のある地域づくりを目指し、地域の多様な芸術文化団体の活動に対して、施設利用（主催事業2事業、共催事業15事業）や広報等の支援をまいります。

また、区補助金を活用して、地震を想定した10回目となる「避難訓練コンサート」を実施します。

#### (3) 体験・普及事業

区補助金や他団体助成金、自主財源を充てながら、次代を担う子どもたちの育成事業や<sup>2</sup>社会包摂の視点も踏まえた事業等に積極的に取り組みます。

##### ○ アウトリーチプログラム

区立小中学校（2006年～）

東京医療センター（2013年～）

区立特別養護老人ホーム3施設（2015年～）

心身障害者センター、区立幼稚園、区立こども園（2016年～）

##### ○ ワークショップ事業

子どもから大人まで、それぞれの年代を対象に実施

#### (4) 指定管理事業（区との基本協定に基づき財団が実施する事業）

区民参加型の「めぐろで第九2020+1」を実施【東京2020オリ

---

<sup>1</sup>財団の自主財源；利用料金から施設の維持管理に充てる費用を除いた収入

<sup>2</sup>社会包摂；芸術文化に備わる特性を活かし、社会的に孤立や困難を抱えている人々に対して社会参加の機会を開き、社会的課題の緩和や解決に取り組む継続的活動

## ンピック・パラリンピック競技大会に係る文化事業】

### (5) 受託事業

- 目黒区文化祭（56回目）  
目黒区文化団体連合会や区と協力しながら民謡、合唱、洋舞をはじめ様々な芸術文化団体の活動を支援
- めぐるオータムアート  
目黒区美術館とともに、音楽と美術を合わせたプログラムを実施
- 東日本大震災復興支援コンサート  
目黒区の友好都市でもある宮城県気仙沼市等への復興支援事業

### (6) 貸館事業

区民をはじめ多くの皆様にご利用いただく貸館事業については、常に公平・公正や安全・安心に留意しながら、施設の貸し出しと設備の保守管理に努めてまいります。

また、情報コーナーや受付窓口に、各種チラシなどを備えて公演等の情報提供を行ってまいります。

## 2 運営方針

- (1) “響きの良さ”などホールの魅力について広く周知するとともに、芸術文化の鑑賞、創造、発信の場となり、より一層、地域に根差したホールとして親しまれるように、地域コミュニティに寄与する取り組みを進めます。
- (2) 各種事業の実施に当たっては、他の文化ホールや実演芸術団体と連携・協力し、文化ホールの特性を活かして創造性・発信性のある事業を実施するとともに、区民の芸術文化に対する関心を高め、活動意欲が発揮できる機会を提供するために参加型事業の充実に努めます。
- (3) 「アウトリーチプログラム」については、区、教育委員会ははじめ、実施する施設との連携を密にしながら、音楽を通して癒しや楽しさを感じられることを目指します。なかでも児童・生徒を対象にしたプログラムについては、芸術性の高い音楽等を通じて豊かな感性が育まれるように取り組みます。  
なお、派遣するアーティストは、文化ホールでコンサートを実施した演奏家に依頼するなど、文化ホール活動とも連携した運営に努めます。

- (4) 「目黒区文化祭」、「めぐろオータムアート」や「東日本大震災復興支援コンサート」については、行政（目黒区、気仙沼市、東京都など）や美術館との連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の支援に努めるとともに、区民が芸術文化の活動に出会い、楽しむことのできる機会を提供します。
- (5) ホールの来館者など利用者の様々なニーズを的確に把握し、施設の魅力を高め、集客につなげていくために、情報紙「アートレター」の更なる充実や、幅広い年代が利用するツイッター、フェイスブックなどのソーシャルネットワークやメールマガジンでの情報発信など、発信回数を増やししながら、創意工夫を怠りません。また、演奏会などの様子を動画としてリアルタイムに配信し（アーカイブとしても配信）、「新しい生活様式」を意識した多様な鑑賞機会の充実に努めます。さらに、貸館利用においても、配信による利用の周知を図ってまいります。
- (6) 文化庁や東京都からの助成のみならず民間助成事業等の活用や、法人及び個人からの賛助会員の拡大に努めるとともに、企業からの協賛、広告料の獲得など収入の確保に努め、収支のバランスにも留意して、財団と区民等との信頼の醸成に努めます。
- (7) 文化ホールの行政と財団による利用率は、これまでの一般利用の実績やコロナ禍のもとでの利用料金収入への影響など今後の収益見通しも踏まえ、大ホールが概ね25%、小ホールが概ね15%を目途に運営してまいります。また、ホールの利用率の向上のため、周知方法等の工夫に努めます。

## 目黒区美術館

### 1 事業方針

#### (1) 展覧会事業

##### ○ 自主企画展（3展）

各々個性ある企画を通じて、多様な作品を紹介する展覧会

##### ○ 指定管理事業（区との基本協定に基づき財団が実施する事業）

美術館所蔵作品展、めぐろの子どもたち展

##### ○ 受託事業1展

「障がいのあるアーティストによる作品展」【東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に係る文化事業】

本館ロビー、ワークショップ室を使用して開催

めぐろオータムアート、目黒区文化祭など

##### ○ 年間の開館日数及び年間入館者数目標

区展を加え概ね200日

##### ○ 6展（自主企画3、指定管理2、受託1）概ね2万8千人

観覧料の区民向けの特典について、引き続き区と協議してまいります。

#### (2) 教育普及事業

美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、「観る」、「創る」、「考える」などの活動や交流を通して感性が育くまれる事業として、例年行っている夏・春のワークショップをはじめ、展覧会に関連したワークショップ、ギャラリーツアー、講演会等を実施します。

#### (3) 調査研究

目黒に息づく様々な文化資源の調査研究を深めてまいります。また、個々の学芸員の専門性を生かしながら、引き続き、美術館の事業や運営を見据えた、より実践的な学芸活動を進めてまいります。

こうした調査研究の成果を土台にして、魅力ある企画展を催し、美術作品の豊かな表現を区民に伝えてまいります。

#### (4) 区民等の芸術文化活動の支援

区内美術団体に対して、本館及び区民ギャラリーを提供するなど、区民の芸術文化活動を支援します。

美術館や地域の活性化を図るため、地元商店街、区内の美術館や博物館などとの協力関係の構築に努めるとともに、区や他団体等との連

携を図り芸術文化活動の推進に努めます。

#### (5) 区民ギャラリーの運営

公平で公正な利用に供するため、抽選会の運用などに留意しながら、展示や撤去時等の安全性を確保し、区民等の創作の発表や交流の場として、区民の誰もが気軽に利用できるよう、適正な運営に努めます。また、引き続き、空き利用の料金設定等に係る区との協議やPR等を工夫しながら新規利用者の増加を図ってまいります。

## 2 運営方針

- (1) 事業の実施にあたっては、必要最小限の経費で予め作成した年間事業スケジュールに沿って実施します。また、他団体助成金の獲得など収入の確保に積極的に取り組むとともに、事業の効果や経済性も考慮しながら事業ごとの収支バランスにも留意してまいります。
- (2) 広報の一環として、ホームページのほかツイッター、フェイスブックをはじめ、若年層の利用が多いインスタグラムなどのソーシャルネットワークを活用した情報発信に、より有効性が増すように努めてまいります。また、令和2年度に開設したYouTubeチャンネル上に、展覧会や催事に関連した動画を公開し、PRに努めます。
- (3) ギャラリーツアー等は、校長会や図工部会など学校教職員等との検討を深め協議しながら、子どもの鑑賞活動機会の拡充を図れるよう努めます。
- (4) 「めぐろオータムアート」等の実施にあたっては、文化ホールや区の芸術文化推進事業と連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の充実に寄与するよう努めます。

# 令和3年度 目黒区文化ホール 事業計画

## I 自主事業

※名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)

### 1 鑑賞事業 (15事業・70公演)

(単位:円)

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入-支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区補助金		
主 催	伝統芸能	1	1月	大ホール	○ 新春落語	新春に行う恒例の落語公演。	1	3,363,560	4,071,375	0	707,815
	クラシック	2	3月	大ホール他	○ フレッシュ名曲コンサート	新進気鋭のアーティストをソリストに迎えるクラシックコンサート。本公演前に来場者拡大を目的としたプレコンサートを実施(配信予定)。	2	7,788,000	* 7,116,990	0	△ 671,010
		3	未定	大ホール	☆ 室内楽公演	著名なアーティストによる室内楽公演(配信予定)。	1	2,303,800	2,084,000	0	△ 219,800
	ポピュラー	4	冬頃	小ホール	○ JAZZ公演	著名なアーティストによるJAZZ公演。	1	830,700	510,000	0	△ 320,700
	その他	5	未定	美術館	○ 美術館連携公演	美術館事業との連携公演。	1	399,500	120,000	0	△ 279,500
					○ 次年度準備	次年度事業の準備経費。		300,000	0	0	△ 300,000
共 催	バレエ	1	8月	大ホール 小ホール	○ 東京バレエ団「第9回 めぐるバレエ祭り」	区内にある東京バレエ団主催による大ホール公演と小ホール等での各種ワークショップやイベント。	40	16,200	16,200	0	0
		2	12月	大ホール	☆ キエフ・バレエ	(株)光藍社主催によるタラス・シェフチェンコ記念ウクライナ国立バレエ団公演。	1	100,440	100,440	0	0
	クラシック	3	2月・3月	小・GTホール	○ レクチャー付室内楽公演	(一社)music dialogue主催による、レクチャー付室内楽公演。	2	12,420	12,420	0	0
		4	6月	大ホール 小ホール	★ 加藤訓子 クセナキス・プロジェクト	NPO法人芸術文化ワークス主催によるパーカッションist加藤訓子らによる公演。	2	8,100	8,100	0	0
	オペラ	5	5月	大ホール	☆ 二期会ニューウエーブオペラ劇場	東京二期会主催によるオペラ公演。	2	21,060	21,060	0	0
	ミュージカル	6	7月	大ホール	★ ブロードウェイミュージカル	(株)ホリプロ主催のミュージカル公演「ピーターパン」。	10	108,000	108,000	0	0
	ポピュラー	7	11月	大ホール	☆ ピアノエラ2021	国内外のピアニストによるピアノフェスティバル	2	49,140	49,140	0	0
		8	1月	大ホール	○ デキシールランド・ジャズ・ジャンボリー	(一社)日本ポピュラー音楽協会主催によるジャズコンサート。	1	28,350	28,350	0	0
	伝統芸能	9	5月	小ホール	☆ 高橋竹童	サウンドポート主催による津軽三味線の公演。	1	24,624	24,624	0	0
		10	4月、5月、7月	大ホール	○ 落語	年3回の恒例の落語公演。	3	167,670	167,670	0	0
合計	15					70	15,521,564	14,438,369	0	△ 1,083,195	

\* (公財)東京都歴史文化財団からの助成金350万円(予定)を含む。



## 2 地域の芸術文化・支援事業

(17事業・20公演)

※名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)

(単位:円)

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入-支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区補助金		
主催	地域支援	1	4月	小ホール	○ 第10回避難訓練コンサート	公演中に避難訓練を行う企画。	1	551,000	0	551,000	0
	新進支援	2	秋頃	小ホール	○ 未来の音コンサート	新進気鋭のアーティストによるコンサート。	2	1,473,600	896,000	0	△ 577,600
共催	団体支援	1	4月・3月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール(決選・予選)	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール。	1	73,000	0	0	△ 73,000
		2	6月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール入賞者アンコール公演	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール入賞者による公演。	1	5,000	5,000	0	0
		3	6月	大ホール	○ 東京新聞児童舞踊合同公演	東京新聞主催による、児童舞踊部門だけの公演。	1	1,000	1,000	0	0
		4	4月	大ホール	○ 東山オーケストラ演奏会*1	目黒区東山オーケストラ主催による演奏会。	1	0	0	0	0
		5	12月	大ホール	○ 目黒区民交響楽団 定期演奏会*1	目黒区民交響楽団主催による定期演奏会。	1	5,000	5,000	0	0
		6	6月	大ホール	○ 目黒吹奏楽団 定期演奏会*1	目黒吹奏楽団主催による定期演奏会。	1	0	0	0	0
		7	7月	大ホール	○ 東京マンドリン宮田楽団 定期演奏会	東京マンドリン宮田楽団主催による定期演奏会。	1	18,000	18,000	0	0
		8	6月・8月	小ホール	○ 伝統文化に親しむ(狂言・フラメンコ)	(公財)北野生涯教育振興会による伝統文化公演。	2	0	0	0	0
		9	3月	小ホール	○ 北野財団主催 チャリティコンサート	(公財)北野生涯教育振興会によるチャリティコンサート。公募で集まった区民が合唱団員として出演。	1	3,000	3,000	0	0
		10	7月	大・小ホール	○ 第19回パーシモンほたるまつり	都立大学商店街等実行委員会主催の区民キャンパスで実施する地域イベント。	1	300,000	0	150,000	△ 150,000
		11	12月	小ホール	○ ユネスココンサート	目黒ユネスコ協会主催による演奏会。	1	10,260	10,260	0	0
		12	10月	大ホール	○ めぐろ童謡コンサート*1	童謡の里めぐり保存会主催による童謡・合唱等のコンサート。	1	8,000	8,000	0	0
		13	12月	小ホール	○ 身体で聴こう音楽会	バイオニア(株)主催による聴覚障害者等を対象としたコンサート。	1	0	0	0	0
		14	3月	大ホール	○ めぐろクラシックセレクション*1	目黒区クラシック音楽家協会主催によるコンサート。	1	8,200	8,200	0	0
	子育て支援	15	3月	小ホール	○ 親子のためのふれあいコンサート	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催のファミリーコンサート。	2	7,500	7,500	0	0
合計	17					20	2,463,560	961,960	701,000	△ 800,600	

\*1 当該団体はパーシモン芸術文化ネットワークの加盟団体である。

パーシモン芸術文化ネットワークとは、芸術文化活動を通して活動団体の交流・連携・協力を深め、目黒区の芸術文化の振興を進めることを目的とした団体

3 体験・普及事業 (3事業・39公演)

※名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)

(単位:円)

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入-支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区補助金		
主催	ワークショップ	1	6、7月	小ホール	○ 子ども向けワークショップ(演劇、ダンス)	子どもを対象にしたワークショップ。	3	1,762,300	*1 1,521,500	0	△ 240,800
		2	冬頃	小ホール	○ 大人のためのワークショップ	大人を対象にしたワークショップ。	1	1,110,000	118,400	0	△ 991,600
	アウトリーチ	3	年間	小中学校等	○ アウトリーチプログラム	区内小中学校等にアーティストが出向き、子どもたち等との交流等を実施。	35	5,500,000	*2 0	3,800,000	△ 1,700,000
合計		3				39	8,372,300	1,639,900	3,800,000	△ 2,932,400	

\*1 (公財)北野生涯教育振興会からの協賛金140万円を含む。

\*2 文化庁に助成金申請を行っている。

公演等事業 (自主事業) 合計	26,357,424	17,040,229	4,501,000	△ 4,816,195
-----------------	------------	------------	-----------	-------------

4 自主事業運営経費

※名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)

(単位:円)

区分	名称 (○:継続 ★:新規)	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
				チケット・ 参加費等	区補助金	
自主事業 運営経費	○ チケット手数料及び委託	チケット購入に係るシステム委託及び手数料。	782,200	0	500,000	△ 282,200
	○ 都立大駅前ポスター掲出委託	都立大学駅前に設置している看板掲出料。	486,400	0	477,560	△ 8,840
	○ ボランティア活動の支援	ホールの事業等のスタッフとして活動を支援する。	20,000	0	0	△ 20,000
	○ 賛助会運営	ホール賛助会(法人・個人)の運営。	20,500	778,000	0	757,500
	○ アートレター	財団情報紙である「アートレター」の作成・配布。	5,723,200	862,400	2,098,800	△ 2,762,000
	○ その他全体広報	ホール全体等の広報、記録等。	200,000	0	0	△ 200,000
	★ 映像配信	ホール事業の映像配信(ライブ及びアーカイブ)業務。	3,355,000	340,000	3,015,000	0
合計			10,587,300	1,980,400	6,091,360	△ 2,515,540

(35事業・129公演)	ホール事業経費 総合計(公演事業+運営経費)	36,944,724	19,020,629	10,592,360	△ 7,331,735
--------------	------------------------	------------	------------	------------	-------------

## II 指定管理事業

※名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)

(単位:円)

区分	事業・公演					公演数	支出	収入		自主財源 (収入－支出)
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容			チケット・ 参加費等	指定管理料	
指定管理事業	1	6月	大ホール	☆ めぐろで第九2020+1	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関わる文化の祭典として、区民参加型の第九公演を実施する(配信予定)。	1	10,685,800	* 4,641,700	1,258,000	△ 4,786,100
合計	1					1	10,685,800	4,641,700	1,258,000	△ 4,786,100

\*独立行政法人日本芸術文化振興会に助成金申請を行っている。

\*北野生涯教育振興会からの協賛金100万円を含む。

ホール事業経費＋指定管理事業費	47,630,524	23,662,329	11,850,360	△ 12,117,835
-----------------	------------	------------	------------	--------------

公演等事業(自主事業)＋指定管理事業費(受託事業)	37,043,224	21,681,929	5,759,000	△ 9,602,295
---------------------------	------------	------------	-----------	-------------

## III 受託事業

※名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)

(単位:円)

区分	事業・公演					公演数	支出	収入		自主財源 (収入－支出)
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容			チケット・ 参加費等	区委託料	
受託事業	1	春・秋	大・小ホール等	○ 第56回目黒区文化祭	日舞、合唱、民踊、華茶道、邦楽、郷土、洋舞、吟剣、自主グループ、演劇、謡曲、民謡、音楽、ユネスコの各団体による公演。	14	1,963,843	0	1,963,843	0
	2	秋頃	大・小ホール等	○ めぐろオータムアート	目黒区の特徴を生かし、「聴く、観る、知る、創造する、育てる」の視点から、たくさんの人に芸術文化に接し、親しんでもらうためのイベント。	2	766,000	80,000	686,000	0
	3	3月	大・小ホール等	☆ 東日本大震災復興支援コンサート	目黒区と友好都市である宮城県気仙沼市等への東日本大震災復興支援事業(配信予定)。	1	5,682,500	* 3,437,500	2,245,000	0
合計	3					17	8,412,343	3,517,500	4,894,843	0

\* (一財)地域創造からの助成金220万円を含む。

ホール事業経費＋指定管理事業費＋受託事業費	56,042,867	27,179,829	16,745,203	△ 12,117,835
-----------------------	------------	------------	------------	--------------

令和3年度 目黒区美術館 事業計画

【自主事業・展覧会】

(単位:円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内 容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
					展示事業等	区補助金	
1	「マニユエル・ブルケール —20世紀パリの麗しき 版画本の世界」展	4月21日(水) ～6月6日(日) (41日間)	パリの出版人であったマニユエル・ブルケールは、1930～1960年代にかけて、画家で印刷工房の主のジャン＝ガブリエル・ダラーニュスの協力のもと、美しい絵で彩られた版画本を、愛書家のために限定出版しました。マルク・シャガール、モーリス・ユトリロ、ピエール・ボナール、ラウル・デュフィ、アンドレ・ドラン、キース・ヴァン・ドンゲン、アルベール・マルケ、エミール・ベルナルなど、20世紀前のフランス美術の名だたる画家たちが参加したこの版画本は、当時のフランスの版画の豊かさと優雅さを示しています。この度は、当館所蔵の版画本49冊に収録された、約500点を展示します。	4,953,500	1,653,500	0	△ 3,300,000
2	「包む—日本の伝統パッケージ」 展	7月13日(火) ～9月5日(日) (48日間)	当館では、日本のパッケージ(包装・容器)の収集と研究で、「TSUTSUMU(包む)」という言葉とともに大きな足跡を残した岡秀行が収集した資料群を紹介する展覧会を1988年に開催しました。このコレクションとコンセプトを受け継いだ当館では、2011年にも展覧会を開催し、好評を得ました。木、藁、土などの自然素材で作られ、生活の知恵や機能美も有したパッケージに、日本人の美意識や包む心を見出した岡の視点を交えながら、今日ではもう手に入らない貴重なパッケージも含む、約400点で、日本の心を再認識する場を目指します。本展は当初、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、2020年7月11日～8月30日に開催予定でしたが、オリンピック・パラリンピックの2021年夏季への開催延期に伴い、会期を変更したものです。なお、本展に関連する映像を制作し、配信します。	10,600,000	4,070,000	6,530,000	0
3	「木村伊兵衛 パリ残像」展 (仮称)	令和4年 2月19日 (土) ～ 3月27日 (日) (32日間)	木村伊兵衛(1901～1974)は、日本を代表する写真家で、日本人の日常生活や著名人を、愛用のライカで瞬時にスナップ撮影したモノクロ写真で有名です。2021年は、木村の生誕120周年の年でもあります。フランスの写真家、アンリ・カルティエ・ブレッソンに憧れていた木村は、1954年にパリに渡りブレッソンに会い、パリの街を写生するその撮影手法に触発され、当時の日本ではまだ珍しいカラーフィルムで、パリの日常を撮影しました。一方、当館では美術家の滞欧米期の作品を収集していることから、画家たちが留学もしくは旅行中にパリを描いた作品を多数所蔵しています。本展では、写真家の木村と、画家たちがパリに向けた眼差しを追います。	7,800,000	2,100,000	0	△ 5,700,000
4	次年度準備経費	—	主に次年度4月開催展覧会用準備経費(ポスター、チラシ、チケット制作や通信経費等)	880,000	0	0	△ 880,000
				24,233,500	7,823,500	6,530,000	△ 9,880,000

【指定管理事業・展覧会】

(単位:円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内 容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
					展示事業等	指定管理料	
1	目黒区美術館コレクション展 (仮称)	11月13日(土)～ 12月19日(日) (32日間)	目黒区美術館では1987年の開館以来、近代以降の、海外で学んだり、国際的に活躍をした日本人画家を中心として、目黒にゆかりある作家・作品に焦点を当て、特色あるコレクションを形成してきました。今回は、一部会期中に「障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび2021」を同時開催することを受けて、「日々のよろこび」をテーマとした作品を展示します。	3,744,000	1,274,000	2,470,000	0
2	めぐろの子どもたち展	令和4年 1月18日(火) ～2月2日(水) (14日間)	目黒区立の幼稚園、小学校、中学校で学ぶ子どもたちが、授業中に制作した図画工作・美術・書道などの作品を展示し、子どもたちの素直な目を通して発見された驚きや、美しいものになりたいという意欲など、心の動きが豊かに表現された力作を紹介します。併せて交流のある海外都市の子どもたちが描いた作品も展示します。	1,790,000	0	1,790,000	0
				5,534,000	1,274,000	4,260,000	0

【自主事業・教育普及】

(単位:円)

NO	事業名	名称ほか	時期(予定)	募集対象	回数	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
								展示事業等	区補助金	
1	ワークショップ(1) 夏	つつむ(仮称)	7月～9月	子ども～大人	4コース 程度	「包むー日本の伝統パッケージ」展に関連した内容を予定。	450,000	30,000	420,000	0
2	ワークショップ(2) 春	美術を見る・知る (仮称)	令和4年 2月～3月	子ども～大人	3コース 程度	美術全般についての美術講座を予定し、美術の基本に関するテーマを設定します。	390,000	30,000	360,000	0
3	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		秋頃	中学生～大人	4回	村野藤吾設計の目黒区総合庁舎の見どころを解説する人気の庁舎建築ツアー。前年に引き続き、国内各地の村野建築ツアーなど関係する美術館等相互の広報にも注力していきます。	225,000	155,000	70,000	0
4	トイコレクション プログラム	アウトリーチ	5月、11月	乳幼児～大人	2回	トイコレクションボランティアチームが、児童館で展開するアウトリーチプログラム。テーマとストーリーをつくり、児童館に来る子どもたちと遊び美術館を紹介します。トイの日は、美術館で実施します。				
		トイの日	7月	乳幼児～大人	2日					
5	大人のための 美術カフェ	各展覧会	各会期中	高校生以上	4回	平成26年度から始めた当館学芸員による、大人向けのゆるやかな美術談義。ラウンジ等で展覧会担当学芸員が担当した展覧会や美術に関するエピソードなど自由にテーマを設定してお話します。				
6	ギャラリーツアー	各展覧会	各会期中	小中学校	複数回	区内、近隣小中学校の鑑賞教室を受け入れていきます。				
7	デザインキャンプ		夏以降	高校生以上	1回	ハーマンミラーとのコラボレーション。デザインに関するワークショップ。今回で11回目の開催となります。				
8	美術講座	館長による講座等	夏以降	高校生以上	3回程度	目黒区美術館館長による美術に関する連続講座等を開催します。				
※ 事業費については、主に参加料収入を充てます。							1,065,000	215,000	850,000	0

※ 事業費については、主に参加料収入を充てます。

※ 各展覧会においては、関連催事を予定していきます。

※ コロナウイルス感染の拡大状況に応じて、オンライン等での実施も検討します。

【受託事業・展覧会、教育普及】

(単位:円)

NO	展覧会名・事業名	時期(予定)	募集対象	回数	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)	
							展示事業等	区委託料		
1	障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよこび2021	11月30日(火)～ 12月19日(日) (18日間)	—	—	本年は、東京2020パラリンピックの開催年です。目黒区内の障がい者通所施設を中心に、区内在住の障がいのある方が作った作品を紹介する予定です。	4,200,000	0	4,200,000	0	
2	めぐろオータムアート(目黒区 文化・ 交流課と財団の共同企画)	秋頃	未定	未定	目黒界隈の建築を見るツアー「建築めぐり塾」、家族で美術と美術館に親しんでいただくワークショップ。パーシモンホールとの共同企画で、音楽と美術に関する催事を行います。	184,000	12,000	172,000	0	
							4,384,000	12,000	4,372,000	0

《受託事業・目黒区文化祭》(区民ギャラリー)※日程については予定

- 1) 華茶道展:4月                      2) 自主グループ展:4月                      3) ユネスコ美術展:11月(令和2年度中止のため)

《後援事業》(区民ギャラリー)※日程については予定

- 1) 目黒区書作家協会展 5月                      2) 目黒区美術家協会展 6月                      3) 目黒区美芸作家協会展 令和4年3月

《協力事業～主催;目黒区民作品展実行委員会》※日程については予定

- 1) 区展(区民作品展) 9月15日(水)～9月26日(日)(11日間)